

会 議 録

会議名	令和5年度 第4回豊田市入札監視委員会		
日 時	令和6年3月22日（金） 午後2時30分～午後3時10分		
場 所	豊田市役所 南庁舎5階 51会議室		
出席者	委員長 曾我部 博之	副市長	安田 明弘
	委 員 河野 伊知郎	事業管理者	前田 雄治
	岡田 千絵	総務部	検査監 中根 和男
	小島 啓介	契約課	課 長 加藤 純也
			副課長 山口 敏宏
			担当長 岸上 和美
			担当長 藤谷 明輝
			担当長 鶴田 智之
		上下水道局	
		(上下水)総務課	課 長 小島 弘一
			副課長 成瀬 孝紀
			担当長 山田 のぞみ

1 意見具申

曾我部委員長から意見具申書の内容説明後、市及び上下水道局に手渡す。

2 意見交換

質 問	回 答
昨今、労務費等が高騰しているが、入札等への影響はどうか。	特に業務委託について不調発生率が上昇している。なお、市場との価格差が縮まるよう、今年3月に労務単価の改訂を行っている。
2024年度問題について、事業者も人を増やすことは難しいと考えるが、この点の対応はいかがか。	必要書類の簡素化や十分な期間の工期設定等に取り組んでいる。
「人工衛星とAIによる水道管の健康診断」の取組を新聞報道で拝見した。地域経済の活性化に地道に取り組む一方で、このような先進的な取組も行っていることに感銘を受けた。双方向に取り組むことは大変かと思うが、今後も、是非、頑張ってもらいたい。	今後も、引き続き、新たな取組にチャレンジしていきたい。
税が財源である以上、より低価格の事業者が落札するというのが基本だが、一方で、入札価格の下限の設定等低価格による悪影響が出ないように適正価格を確保していく必要もある。	貴重なご意見ありがとうございました。

3 報告事項

質 問	回 答
水道施設工事の特別簡易型の基準額の引上げについて、引上げの影響はどうか。	今回の基準額の引上げは、令和5年4月に市長部局が行った見直しと同じ内容である。今年度の実績では、1億5千万円以上2億円未満の水道施設工事の発注件数は0件であり、影響は大きくないが、業者負担を軽減し、入札参加者を増やす目的で見直しを行う。